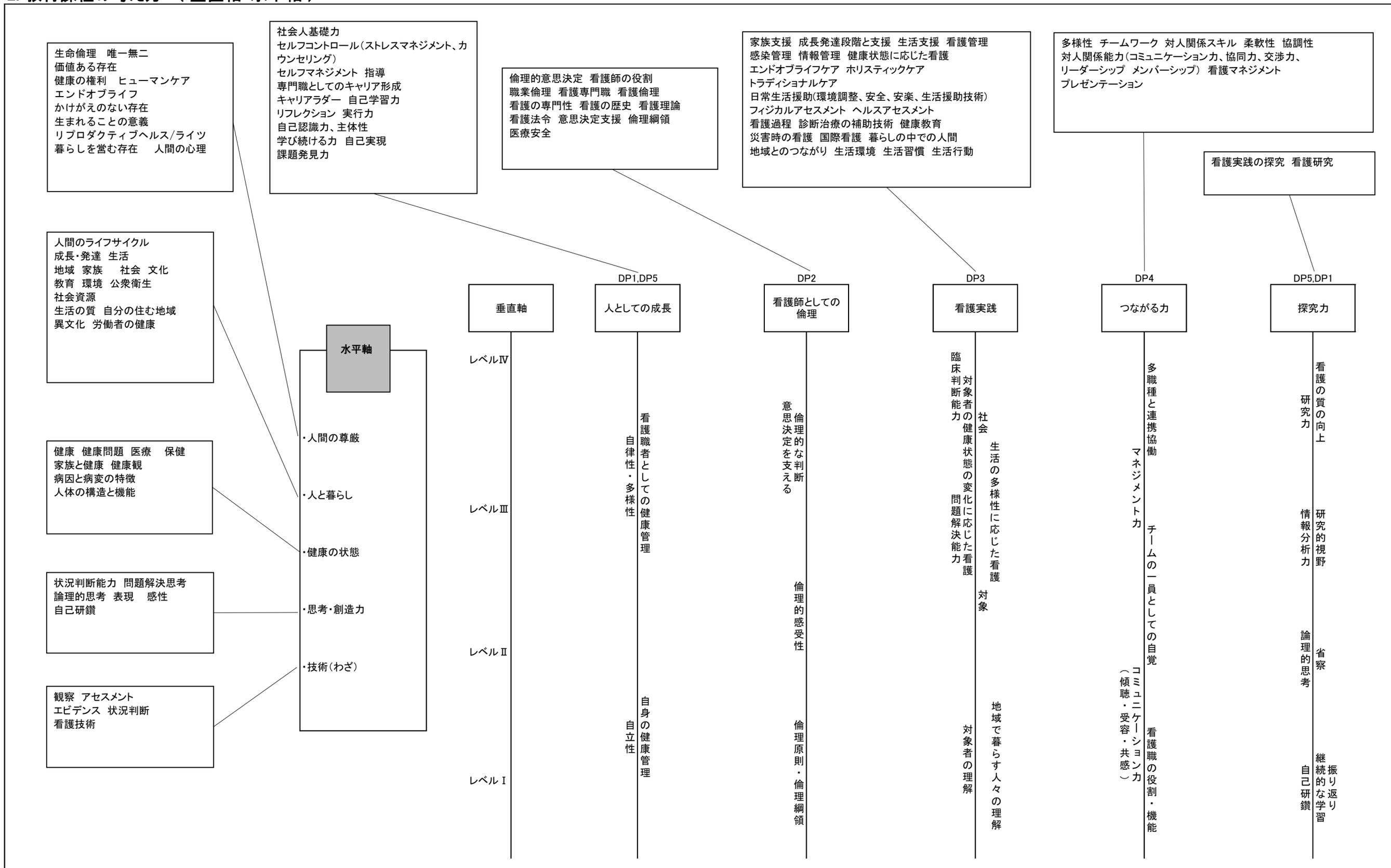


## 2. 教育課程の考え方（垂直軸・水平軸）



2. 教育課程の考え方 (カリキュラムマップ)

科目 NO	教育内容	配当時期	単位数	時間数	ディプロマポリシー				
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
					人としての成長を目指す 人間性の豊かさを身につけている	生命の尊厳をもって対象に 関わるができる力を身につけている	対象を生活者としてとらえ 健康状態に応じた看護が 実践できる力を身につけている	チームの一員として、多職 種と連携・協働できる力を 身につけている	看護を探究しつづける力を 身につけている
1	学びのステップ	1前	1	30	○				○
2	自然科学 I (生物・化学)	1前	1	30			○		
3	自然科学 II (物理)	2前	1	16			○		
4	論理学	2後	1	30				○	○
5	法学	1前	1	30		○		○	
6	生活科学	1前	1	30			○		○
7	人間と社会	1後	1	30			○		
8	心理学	1前	1	30	○		○		
9	教育学	1後	1	30	○		○		○
10	文化人類学	1後	1	30	○				
11	人間関係論	1前	1	20	○	○		○	
12	語学 I (英語)	2前	1	30				○	
13	語学 II (中国語)	2後	1	30				○	
14	芸術と創造	1全	1	20	○				○
15	キャリア開発	2全	1	30	○				○
16	解剖生理学 I 生命 神経系	1前	1	30			○		○
17	解剖生理学 II 呼吸器系 循環器系	1前	1	30			○		○
18	解剖生理学 III 運動器系 感覚器系 血液	1前	1	30			○		○
19	解剖生理学 IV 消化器系 内分泌系	1前	1	30			○		○
20	解剖生理学 V 腎・泌尿器系 生殖器系 体液	1後	1	30			○		○
21	栄養と代謝	1前	1	30			○		○
22	臨床微生物	1後	1	30			○		○
23	病理学	1全	1	30			○		○
24	疾病理解の看護学的視点・症候論	1後	1	30			○		○
25	臨床検査	1後	1	30			○		○
26	疾病論 I 脳神経障害 運動器障害 自己免疫障害	1後	1	30			○		○
27	疾病論 II 呼吸器障害 循環器障害 血液・造血器障害	1後	1	30			○		○
28	疾病論 III 消化器障害 感覚器障害 歯・口腔障害	2前	1	30			○		○
29	疾病論 IV 内分泌代謝障害 腎・泌尿器 体液障害 生殖器障害	2前	1	30			○		○
30	治療論 リハビリテーション 放射線治療 透析療法 ME機器	2前	1	30			○		○
31	薬理学	1後	1	30			○		○
32	臨床心理学	3前	1	16	○		○		
33	公衆衛生学	3全	1	30			○		○
34	保健医療福祉論	4全	1	16			○	○	
35	社会福祉	2後	1	30			○	○	
36	関係法規	3前	1	30			○	○	
37	医療と倫理	4全	1	30		○	○	○	
38	保健統計	3前	1	30			○	○	○
39	看護学原論 I	1全	1	30	○	○	○	○	○
40	看護学原論 II	3全	1	16		○	○	○	○
41	共通基本技術 I 技術論 安全	1全	1	30		○	○	○	○
42	共通基本技術 II コミュニケーション バイタルサイン	1全	1	30	○		○	○	○
43	共通基本技術 III フィジカルアセスメント	2全	1	30		○	○	○	○
44	共通基本技術 IV 看護過程	2前	1	30		○	○	○	○
45	生活援助技術 I 環境調整 活動・休息	1前	1	30		○	○	○	○
46	生活援助技術 II 食・排泄	1後	1	30		○	○	○	○
47	生活援助技術 III 清潔・衣生活	1後	1	30		○	○	○	○
48	診断治療に伴う技術 I 感染予防 吸引・酸素	2前	1	20		○	○	○	○
49	診断治療に伴う技術 II 診察・検査 与薬	2全	1	30		○	○	○	○
50	地域・在宅看護論 I	1全	1	30	○		○	○	○
51	地域・在宅看護論 II	2全	1	30			○	○	○
52	地域・在宅看護活動論 I	3前	1	30			○	○	○
53	地域・在宅看護活動論 II	3全	1	30		○	○	○	○
54	健康教育論	2全	1	30			○	○	○
55	対象別保健論	3全	1	30			○	○	○
56	健康回復支援総論	1後	1	30			○	○	○
57	手術療法と看護	2前	1	30			○	○	○
58	問題解決思考活用法	2後	1	30			○	○	○
59	臨床判断の基礎	3全	1	30			○	○	○
60	多職種連携	3全	1	30	○		○	○	○
61	エンドオブライフケア	4全	1	30		○	○	○	○
62	成人看護学概論	2全	1	30	○		○	○	○
63	成人看護学方法論 I	2後	1	30		○	○	○	○
64	成人看護学方法論 II	2後	1	30			○	○	○
65	成人看護学方法論 III	3前	1	30			○	○	○
66	老年看護学概論	2前	1	30	○		○	○	○
67	老年看護学方法論 I	2後	1	30		○	○	○	○
68	老年看護学方法論 II	3前	1	30		○	○	○	○
69	小児看護学概論	2前	1	20	○		○	○	○
70	小児看護学方法論 I	2全	1	30			○	○	○
71	小児看護学方法論 II	2後	1	20			○	○	○
72	小児看護学方法論 III	3前	1	20		○	○	○	○
73	母性看護学概論	2前	1	30	○		○	○	○
74	母性看護学方法論 I	2後	1	30		○	○	○	○
75	母性看護学方法論 II	3前	1	20	○		○	○	○
76	母性看護学方法論 III	4全	1	20	○	○	○	○	○
77	精神看護学概論	1後	1	30	○		○	○	○
78	精神看護学方法論 I	2前	1	30			○	○	○
79	精神看護学方法論 II	2後	1	30	○		○	○	○
80	精神看護学方法論 III	3前	1	20			○	○	○
81	看護の統合と実践 I	3全	2	40	○	○	○	○	○
82	看護の統合と実践 II	4全	1	30	○	○	○	○	○
83	看護管理	4全	1	20		○	○	○	○
84	家族看護学	3全	1	16		○	○	○	○
85	災害看護と国際協力	4全	1	30			○	○	○
86	感染症と看護	4全	1	20		○	○	○	○
87	看護リフレクション I	2後	1	20	○		○	○	○
88	看護リフレクション II	4全	1	30	○		○	○	○
89	看護の探求	3全	1	20		○	○	○	○
90	看護研究 I	3全	2	40		○	○	○	○
91	看護研究 II	4全	2	60		○	○	○	○
92	看護実践強化セミナー I	3全	2	30			○	○	○
93	看護実践強化セミナー II	4全	2	30			○	○	○
94	特定分野看護セミナー	4全	2	30			○	○	○
95	基礎看護学	基礎看護学実習	1全	1	40	○		○	○
96	地域・在宅看護論	地域・在宅看護論実習 I	3前	2	80	○	○	○	○
97		地域・在宅看護論実習 II	3後~4前	2	80	○	○	○	○
98		看護過程実習	2前	3	120	○	○	○	○
99		健康状態別実習 I	3後~4前	3	120	○	○	○	○
100		健康状態別実習 II	3後~4前	2	80	○	○	○	○
101		手術室実習	3後~4前	1	40	○	○	○	○
102		ICU実習	3後~4前	1	40	○	○	○	○
103	小児看護学	小児看護学実習 I	2前	1	40	○	○	○	○
104		小児看護学実習 II	3後~4前	1	40	○	○	○	○
105	母性看護学	母性看護学実習	3後~4前	2	80	○	○	○	○
106	精神看護学	精神看護学実習	3後~4前	2	80	○	○	○	○
107	看護の統合と実践	統合実習	4全	3	135	○	○	○	○

2. 教育課程の考え方 (カリキュラムマップ)

教育目標	観点	1年次				2年次				3年次				4年次				ディプロマポリシー																
		理解、自立性、問題発見、計画性、協力性、持続性								理解、自律性、多様性、問題発見・解決力、協力性、持続性																								
1. 人間尊重と調和の精神を基調に、互いに自律し尊重できる	人としての成長につながる力 主体的に学習に取り組む態度	1) 他者を尊重しながらコミュニケーション(傾聴・受容・共感)を図ろうとしている								1) 他者を尊重しながらコミュニケーション(傾聴・受容・共感)を図ることができる								1) 互いに自律し、尊重し、支え合いながら人間関係を構築・発展させようとしている								1) 互いに自律し、尊重し、支え合いながら、人間関係を構築・発展できる								1. 人としての成長を目指す人間性の豊かさを身につけている
		2) 看護師を目指すものとして心身の健康管理を意識した行動ができる								2) 看護師を目指すものとして、心身の健康を自己管理できる																								
		科目名				配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期														
		1 学びのステップ				1	前	1	30	15 キャリア開発				2	全	1	30																	
2. 看護師としての責務を自覚し、倫理的な判断を基に看護を実践できる	看護師としての倫理 思考・判断・表現	1) 看護師の倫理綱領、倫理原則を理解できる								1) 看護師としての責務を自覚し、看護者の倫理綱領を意識した行動ができる								1) 看護師としての責務を自覚し、倫理的な判断を基に看護を実践できる								1) 看護師としての責務を自覚し、対象の意思決定を支え、倫理的な判断を基に看護を実践できる								2. 生命の尊厳をもって対象に関わることができる力を身につけている
		2) 医療における倫理的な問題に気づくことができる								2) 倫理的感受性を高め、道徳的に判断することができる																								
		科目名				配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期														
		5 法学				1	前	1	30																									
3. 対象者の暮らしを創造的にとらえ、健康状態に応じた看護を実践できる	看護実践 思考・判断・表現	1) 生活者を理解し、対象の暮らしに関心を持つことができる								1) 対象者が社会の中で生活している存在であることが理解できる								1) 社会の中で生活する一人ひとりをとらえることができる																3. 対象を生活者としてとらえ健康状態に応じた看護が実践できる力を身につけている
		2) 対象者を身体的、精神的、社会的、霊的側面から統合的に理解する								2) 問題解決思考を用いて看護を実践できる								2) 科学的思考を用いて健康状態に応じた看護を実践できる																
		3) 対象者の日常生活支援を安全・安楽・自立/自律に留意しながら実施する								3) 対象者の状態に合わせて、安全・安楽・自立/自律に留意しながら看護を実施する								3) 臨床推論に基づき、安全かつ適切に看護を実践できる																
		科目名				配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期														
4. 看護の役割を理解し、多様な人々と連携・協働し、チームの一員として行動できる	つながる力 思考・判断・表現	1) 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解できる								1) 対象者を取り巻く保健・医療・福祉チームを理解し、看護チームの一員であることを自覚した行動ができる								1) チーム医療の中で互いの専門性を理解し、連携・協働を意識した行動ができる								1) 多職種と連携・協働しながら、チームの一員であることを自覚し、行動に対する責任を持つことができる								4. チームの一員として、多職種と連携・協働できる力を身につけている
		2) 医療安全の基本的な考え方を理解できる								2) 医療安全の基本的な考え方に沿った行動ができる								2) チームの一員として医療安全に基づいた行動ができる								2) チームの一員として自ら医療安全に基づいた行動ができる								
		科目名				配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期														
		5 法学				1	前	1	30	4 論理学				2	後	1	30																	
5. 看護師として学び続ける力を身につけることができる	人としての成長 探究力	1) 看護師を目指すものとして、継続的な学習ができる								1) 看護師を目指すものとして、自身の行動を客観的に振り返ることができる								1) 自らの課題を見出し、学び続けることができる								1) 自らの成長を目指して、省察することができる								5. 看護を探究しつづける力を身につけている
		2) 看護師を目指すものとして、自身の行動を振り返ることができる								2) 看護実践における自らの課題に取り組むことができる								2) 看護実践における自らの課題に取り組むことができる								2) 看護の質向上のために研究的視野をもった行動ができる								
		科目名				配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期	科目名	配当単位数	履修年次	履修学期														
		1 学びのステップ				1	前	1	30	4 論理学				2	後	1	30																	